

六甲カトリック教会 教会報

2021
3
No.591



小教区評議会・議長団会議からのお知らせ

コロナ下の緊急事態宣言が続いているため、予定されていた小教区評議会は開かれず、2月14日に行われた議長団会議で、当面の教会活動について以下のような事項が決まりました。

1. 2021年度小教区における聖週間ごミサ等について

- 4月1日 聖木曜日
- 4月2日 聖金曜日
- 4月3日 聖土曜日(復活徹夜祭)

聖週間の典礼は小教区ごとに1回と定められているが、今回は特例として、ミサを2回行う。参加できるミサの時間帯は、第1グループ、第2グループ交代で振り分けられる。(具体的な開始時刻・振り分けは後日発表される)

- 主日ミサ(枝の主日含む)について

10:00と11:30のミサを当分の間、今まで通り2グループ交代制で行う。

★ ミサ予定表は週報をご参照ください。

2. 「2021年度 教会行事予定表・地区連絡網」の全信徒への配布について

地区役員会が実施不能なため、今年度に限り、議長団で決定し、地区会役員代表が各地区役員に連絡することになった。

以下の日程で主日ミサの各時間帯の前後で配布する。

3月20日(土) 3月21日(日)

3月27日(土) 3月28日(日)

配布担当地区等詳細については、地区代表が連絡する。

配布不能な信徒については従来どおり。

3. 堅信式について

2年に1度の「神戸地区東ブロック合同堅信式」は、本年度が実施年だがコロナの影響で中止。六甲教会では5月23日(日)精霊降臨の主日ミサの中(11:30～)で行う。

(司教さまが当日六甲教会に来られるかはご予定次第で、現時点では不明)

★ 2021年度の教会行事予定は、コロナ事態を考慮しない前提で作成されています

✠ コリンズ神父の説教 (オマリー神父への弔辞)

去る1月14日(日)に行われたジョン・オマリー神父の葬儀ミサのなかでコリンズ神父[写真]が、説教(弔辞)を英語で話されました。その全文和訳が六甲教会信徒にメール配信されました。原文はかなり長文ですのでここで改めて要約をお伝えします。なお、コリンズ神父はオマリー神父のことをジャックと呼んでおられました。文中ジャックとあるのはオマリー神父のことです。(編集部)

ヨハネによる福音第3章29節～30節

花嫁を迎えるのは花婿だ。花婿の介添え人はそばに立って耳を傾け、花婿の声が聞こえると大いに喜ぶ。わたしも喜びで満たされている。あの方は栄え、わたしは衰えなければならぬ。

あの方はより大きくなり、わたしはより小さくなる

ジャック・オマリーはこの福音のとおりを体現された人です。

ご存知のようにオマリー神父は体格のいい大きな人で、心も大きい人でしたが、彼は人の話をよく聞き、人に寄り添う仕事の量は真似ができないほどの大きさのものでした。とくに阪神大震災のときの信者、近隣、周囲の人たちへの安否確認と行動は圧倒的でした。

友人の息子がロヨラハウスのオマリー神父のところへしばしば通っていましたが、ジャックはいつも「神は愛なり」と口にされ、そしてそれを信条に人生を送って来られたことがよく理解できたと、彼は語っていました。

ジャック・オマリーは繊細な人物で、老若、男女、世代、国籍を問わず、すべての人との話に耳を傾け理解しアドバイスをしました。

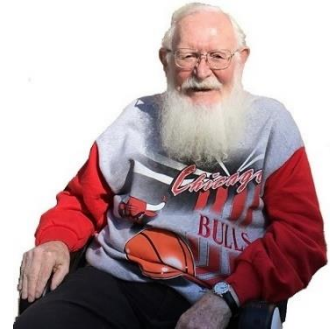
当初、ジャックは日本での語学教師の道を薦められたものの賛同できず、下関での司祭の道を選び、教会の仕事に就くことになりました。ジャックにとってまさにそれが天職だった

のです。

ロヨラハウスでジャックは「祈りの会」を立ち上げました。共同生活を送る神父たちの中ではそれぞれの祈りに対する思いがあり、その運営は至難の業なのですが彼はそれを見事に成し遂げました。

また、ジャックは望郷の曲「ダニーボーイ」を葬儀で演奏などして欲しくないと言ったことがあります。日本に在住する外国人と見ないで欲しい、住まいはどこでも良い、永遠の住まいは「天国」なんだから、ということです。

私たちが理解しなければならないこと「あの方は大きくなり、わたしは小さくなる」これこそがジャックが信条としてきたことです。あるときジャックは車のナビはドライバーが間違っても腹を立てることなくやさしく同じようにリードしてくれる、このように神様は私たちが行くべきところへやさしく導いて下さる、と言っていました。ジャックはこうして天国に行きました。ジャックはいま神様とともにいます。ジャックは小さくなり、神様はさらに栄えます。神様は彼を愛しています。私達も彼を愛しています。



今月の聖人 3月 聖ヨセフ

ヨセフが驚いたのは聖霊によるいいなずけマリアのみごもりでした。当然ながら苦悩したヨセフは一旦婚約解消を考えますが、天使が命じた言葉に従い一切の疑いを排し、マリアとともに幼子イエスを育てることを受け入れます。ヨセフはなんと優しく謙虚で信仰心の厚い男でしょう。そして勤勉な父親としてイエスに教育をほどこし立派に成人させます。ヨセフは神に絶対の信仰と服従を捧げたのです。ヨセフこそ正しい人、と言われる所以です。ヨセフとマリアそしてイエスは、まこと聖家族。聖ヨセフの記念日は3月19日とされています。絵はフランスのジョルジュ・ラ・トゥール(1593～1652)が描いた「大工の聖ヨセフ」。かたわらにロウソクを持って暗い作業場を照らす幼少時のイエスがいます。(詫 洋一 記)





みんなの広場

～オマリー神父様をお喜びして～

今年の冬は、一段と寒い冬との予想通り、凍てつくような1月8日オマリー神父様ご帰天の知らせが来ました。ポーランドの元留学生で、現在神戸大学准教授のアガタさんからのメールで知りました。神大に通う途中、初金に六甲教会で祈っている彼女の姿を見かけては、オマリー神父様の事が、私たちの共通の話題でした。

信じ難い・信じたくない思いでいたところ、六甲教会からもオマリー神父様が神のみ元にかれたとの知らせを受けました。このコロナ禍にお別れに伺うことも出来ず悲しみに暮れていたところ、1月14日に東京で行われた葬儀ミサをインターネットで配信していただき、心からの感謝と共にお祈りをさせていただきました。

海の向こうでもご遺族方がご覧になられていることを思うと、私たちの悲しみに勝るお気持ちを感じつつ、車椅子で出てこられたコリンズ神父様が「シカゴでこれを見ている人のために英語で福音をお伝えします」と、ヨハネによる福音第3章29～30節を読まれ、お親しかったオマリー神父様の事を話されました。

奇しくも26年前の阪神淡路大震災当時のお話もされました。残念ながら私は夫との外

地勤務を終え帰神した矢先で、近所の人たちが水を求めて山口組に行ったりしたのは見ていませんでした。またオマリー神父様が信徒の運転する車で街を廻り、救いの必要な人々を助けて廻られた事も知りませんでした。「復興の長はヤクザかオマリー神父様か」と、人々はその働きぶりを話したのは掛け値ない事だったでしょう。近年お年を召され、杖をつくようになられ、一般の人々が通うリハビリ施設に通われた折も、老若男女を問わずどんな人に対しても気さくに話され、人気者だった事と重なります。

ロヨラに行かれた後も、オマリー神父様にお会いするにはアポイントメントが必要と聞きました。コリンズ神父様は、「私が一週間外で仕事をするより、ジャックが一日部屋にいて、人々が架けてくる電話に耳を傾ける方が良かった」と、言われていました。また最後に「ジャックは天国に行きます」。「神様はジャックを愛しています」と、力強くおっしゃいました。その言葉をお聞きして、本当にその通りだと思い、不思議に悲しみの心が薄らぎ、オマリー神父様を懐かしく思われる全ての方々とご一緒に、在りし日を思い出して参りたく思います。

(金子 淳子)



図書室からのお知らせ

先日 図書室の投書箱に次のような、投書がありました。

『聖書の最も新しい共同訳が3年位前に出たと思いますがこの図書室に入っていますか？(前の「新共同訳」の次に出た本です)』

これへの回答とともに、皆さんにお願いを申し上げたいと思います。教会報2019年1月号の《図書室からのお知らせ》に、「聖書」の訳本の位置づけ・変更点の特徴の簡単な説明、高見大司教様のコメントなどとともに、『聖書：聖書協会共同訳』は、18年12月に一冊ですが購入したとあります。それで、調べたのですが、現在は図書室に見当たりません。

そこで、皆さんにお願いがあります。教会員全体の図書です。長期に亘って借り出すのはご遠慮下さい。また、お気付きのこと、希望図書等、こちらはご遠慮なくお知らせください。よろしく願いいたします。多くの良書が教会・図書室に待機しています。どしどしご利用いただけたらと思います。

趣味百景

帆船模型

社会人生活を引退したら、何をしようか？
この年齢に達したら誰もが何か考えてきたと
思います。

例えばスポーツが得意な人は、得意技であ
るゴルフやテニスに注力して腕を磨こうとか、
絵画の趣味を充実させようとか・・・です。

私の場合は模型造りで、70歳から「精密帆
船模型」を始めました。作り方はキットメー
カーの製品を購入して組み立てるか、図面だ



けを入手して材
料(木材・各種部
品類)を揃えて行
くやり方でスクラ
ッチビルトと云われ
るやり方です。
帆船模型も実

物が活動していた時代・
造船した国の技術力など
調べ、帆走していた雄姿
を想像しながら組み立て
るのは、とても楽しい時間
です。



作品を完成させるに要する時間は、船によ
っても異なりますが平均的に言えば6か月～3
年位は必要で慌てず忍耐強くやるのみです。

写真は1746年に建造されたオランダの賓
客送迎用のヨットで「ユトレヒト号」を、スクラ
ッチビルトしたものです。作成に要した時間は
約1年半でした。

こんな趣味です、興味のある方は米村純一
(jyon@kcc.zaq.ne.jp)まで
問い合わせ下さい。

教会掃除 日曜班募集！！



日曜日ミサ後の日曜班掃除メンバーが激減しています。
(参加者1名が2回続く)

日曜班の掃除にご協力をお願いいたします。

11時半のミサ後12時半開始です。掃除当番は2か月に1回程度です。

次回掃除当番は4月25日です。

日曜班の掃除当番の方は、主日の地区別のミサ時間に関係なく11時半のミサに
参加して下さい。

毎週金曜日は、各地区が掃除当番になっておりますが、日曜日は所属地区を超
えて金曜日の掃除に来られない方をお願いしております。

ご協力いただける方は教会事務所にご連絡下さい。(地区役員代表 井川 直哉)

◆春の花：咲く時、散る時◆

日本文学でもてはやされ人々の心に直ぐに思い浮かぶのは、梅の花なのか桜の花なのか。しかし花といえばサクラであり、すこし大げさに言えば、誰もが浮足立つ思いで桜前線の北上を待ちわびる。空模様を気遣いながらサクラの風情を思い描き、一分咲きから満開の狂乱まで、さらに花吹雪が地面に降り敷きあるいはミナモに流れ去るまで、ほんの短い期間ではあるが私たちの眼を引き付けてやまない。

桜は何も日本にだけ生える植物ではなく、私はドイツでもイタリアでもアメリカでもお目にかかった。サクランボの美味しい実がなるため家庭でも育てられているが、その花を愛でること、ましてや人の世・イノチの移ろい易さと儚さを重ねて花を愛でる心情などは無い。桜の花は今年も何心無く咲き乱れ、しおれて散り失せる。それは「時」の移り変わり、季節の単なる営みと解されるばかり。しかしながら聖書の民イスラエルは、万事・万象に神の計らいと関与を汲み取った。それゆえ人間を取り巻く「時」の転変の中に、神の直接の配剤や意図を読み取り、イサギヨク引き受けた。コヘレトは、天が下のすべての事には季節があり、すべての業には時があると述べ、人生に避け難くめぐりくる対立的な時＝人間の誕生と死去、泣くと笑う、探すと失う、保つと捨てる、黙ると語る、愛すると憎む、戦闘と和睦などなどの「時」の交代に、一喜一憂しながらも人間の考・慮を越える神の摂理を受け入れ、応諾する事こそ人の分際であり、時の変転を弁え応えるように励ます。こうして「神の為さることは、すべて時にかなって美しい」と結論し、自らの信仰告白にかえている。

また詩篇31の15節は、無慈悲な敵か

ら苦しめられ命を狙われながらも、神に大いなる信頼をもって「私の時は、あなたの御手の中にあります」と祈るが、イエスの十字架上の一つの言葉（ルカ福音書）は、「主よ、わが魂をあなたの御手に委ねます」と同じ詩篇の5節を使っている。私の魂とは、神が与える時の推移や交代によって織り成されたもの、と考えているのだろうか。

イエスは宣教の初めに、「時は満ちた。神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と宣言する。イエスの存在・イエスの活動こそ、神の支配の何よりの成就であると信じ、彼がもたらす救い・恵みの時を、心から信じて受け入れるようにと招いている。さらにヨハネ福音書にとってイエスの時とは、天に上げられ御父の懷に帰る栄光の時であり、同時に十字架に上げられる苦難の時でもあり、こうして全ての民が永遠の生命・救いに与る時であった。

前回のNHKの大河ドラマ「麒麟がゆく」は明智光秀が主人公であり、娘の結婚を喜び祝う父親の一場面があった。しかし大河ドラマの主人公として、細川ガラシアの登場を、待ちかねている人々が大勢いるそうだ。彼らの願いがいつ叶うのかは知らないが、明智光秀の娘としてまた細川忠興の妻として、信長から秀吉へさらに家康へと血なまぐさい権力闘争に明け暮れた時代、彼女は動乱のチマタで求道し受洗した比類のない人物であった。キリシタンとしての信仰をひたむきに歩み、38歳でイサギヨク死を迎えた勇ましい生きざまと見事な死にざまを想う、咲き匂い散り急ぐサクラを今年も愛でながら。

散りぬべき 時知りてこそ 世の中の
花も花なれ 人も人なれ

中村健三 合掌

【 2021年3月予定表 】

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
					初金曜日ミサ 7:00 10:00 聖体顕示 ◎灘南。神戸西	
7	8	9	10	11	12	13
四旬節第3主日					十字架の道行き 10:00 ◎灘西・中央	
14	15	16	17	18	19	20
四旬節第4主日					十字架の道行き 10:00 聖ヨセフ ◎東灘北1	
21	22	23	24	25	26	27
四旬節第5主日				定期清掃	十字架の道行き 10:00	
28	29	30	31			
受難の主日 (枝の主日)						

次回4月号の発行日は未定です。

原稿は毎月15日ごろまでに教会受付へ直接ご持参いただくか、FAX やメールでお願い致します。皆様からの原稿をお待ちしております。あわせてご意見もお寄せください。 (広報部)

<http://www.rokko-catholic.jp>

六甲カトリック教会

〒657-0061	神戸市灘区赤松町3-1-21
電 話	078-851-2846
F A X	078-851-9023
E - メール	renraku@rokko-catholic.jp
発行責任者	アルフレド・セゴビア
編 集	広 報 部